



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成29年(2017年)
11月6日
月曜日
第193号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3134 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

賀茂地域の理想の教育の実現に向けて ～賀茂地域教育振興センターの取り組み～

今年4月に、地域一体となった教育指導体制の拠点として、下田総合庁舎内に「賀茂地域教育振興センター」を開所してから7カ月が経ちました。静岡教育事務所参事1人、賀茂地域5町で共同設置した指導主事3人、下田市指導主事1人、県で設置した幼児教育アドバイザー1人の計6人の教職員が、賀茂地域の理想の教育の実現に向けて、日々奮闘しています。

子どもを中心とした授業づくり

「授業づくり支援」「教職員研修」が、賀茂地域教育振興センターにおける支援の柱です。以下は、賀茂地域の小中学校に配属された1～4年経験者の研修会(授業づくり)の一コマです。各自が持ち寄った指導案を基に、子どもの思考がどのように展開するのかを検討しています。



〈中学校社会科:学習問題「キュウリの価格はどのように決まるのか」〉

授業者 「(上の学習問題に対して)予想される生徒の考えは「生産量」、「需要量と供給量」、「季節」だと考えました」

他の先生 「キュウリの価格を決める要素として、他にも「重さ、大きさ、太さ」や「産地」などの意見が出ることも十分予想できるし、「店によって自由に決めている」と考える生徒もいるのでは」

このようなやりとりの中で、全員の言葉が重なった場面がありました。指導案に示された学習問題が、子どもの自然な思考の流れからは生み出されないことが分かったからです。

子どもの思考のつながりを踏まえ、子ども自身が生み出す学習問題についての再検討が始まりました。多様な思考のつながりから、おそらく子どもたちは「価格が大きく変わるものとあまり変わらないものがある」という事実を確かめてくるだろう。そして、この疑問を解き明かしたいと、主体的に追究を深めていくに違いないと考えました。まさしく、子どもを中心とした授業づくり研修です。他者と考えを共有し合いながらの深い検討は、参加者にとって大変価値あるものとなりました。

研修後、授業者からは「予測する子どもの姿が多様であるほど、柔軟な対応が可能になる」「相談しながら授業を構想するのは楽しい」との声が聞かれ、今後の授業づくりへの意欲にもつながりました。

今後、賀茂地域の小中学校では、目を輝かせながら追究を深める子どもたちの姿と、子どもの思考に寄り添い、授業づくりにまい進する若い先生方の姿がたくさん見られることでしょう。

賀茂地域のよさを生かして

「地域の子どもは地域で育てる」

東伊豆町では、このような言葉を日常的に聞くことができます。以前から、幼・小・中・高の公開授業や子ども・教職員の交流等を通じた連携が盛んで、このような意識が醸成されてきました。

現在、東伊豆町では、「賀茂地域教育振興方針重点取組」の実現に向けて、地域で培われてきたよさを生かし、他の地域でも汎用可能な幼保・小・中・高の連携強化に向けた実践事例集を作成中です。

賀茂地域教育振興センターでは、このような取り組みに対し、学校教育に関する助言、データの収集等、専門的立場から市町教育委員会への支援を行い、地域全体で「賀茂の子」を育てる環境づくりを目指していきます。

賀茂地域教育振興方針重点取組

- ①「賀茂地域学校魅力化推進協議会」の開催
- ②幼保・小・中・高の連携強化に向けた実践事例集の作成
- ③「賀茂地域教育サポーター推進組織」の設立
- ④「静岡大学と賀茂6市町教育委員会間における相互連携協定」の締結
- ⑤遊休施設(地)等リストアップ、文科省専用サイトへの掲載
- ⑥指導要録の電子化

【義務教育課・静岡教育事務所】

～静岡教育事務所 H29 授業改善メッセージPlus～ 子どもの学びの姿から授業を見直す

静岡県では、どの子どもにも「確かな学力」を育むために、子どもたちが「学びの実感」を積み重ねる授業を目指し、授業改善に取り組んでいます。この考えに基づき、静岡教育事務所では本年度「授業改善メッセージPlus」を管内小中学校に配布しました。昨年度の「授業改善メッセージ」で示した3つの手がかりに迫るための具体例を挙げています。新学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学び」に向けて、今改めて大切にしたいこととして、教師が学ば側立った視点で「子どものもっているものを引き出し、高める授業づくり」を目指して授業改善に取り組むことの重要性を訴えました。

H29 授業改善メッセージ Plus 子どもの学びの姿から授業を見直す

～「主体的・対話的で深い学び」に向けて、改めて大切にしたいこと～

これからの授業づくりで大切にしたいことは何だろうか。それは、奥がこれまで取り込んできたこと、そして次期学習指導要領でも重視されている、学習者に立った授業づくりです。子どもは自ら学びをもっています。だからこそ、子どものもっているものを引き出し、高める授業づくりを進めましょう。H29 授業改善メッセージPlusでは、H28 年度版「子どもの学びの姿から授業を見直す」で示した3つの手がかりについて、具体的な例を挙げています。このPlusを基に、先生方が目の前の子どもの姿で振り返り、日々の授業改善を積み重ねていってください。

「一人一人の学びの姿に目を向ける」には

例えば、じっとしている子に目を向けてみよう。なぜあの子は立ち止まっているのか、子どもの表れのあるものを見、見て聞いて感じよう。

「一人一人に目的意識や必要感をもたせる」には

例えば、学び合いの前に、これまでの経験や考えを踏まえて「なんで」「今までと違う」「友達と違う」など子どもが動くように教材と出合わせ、「みんなと考えたい」という思いを引き出そう。

「子どもの姿を思い描いて授業を構想する」には

例えば、目標を達成した子どもが、どのようなことを感じたり、考えたり、表現したりすることができるようになるのかをイメージして授業を考えよう。

子どものもっているものを引き出し、
高める授業づくりを進めよう

～掛川市立土方小学校の研修より～

「一人一人に目的意識や必要感をもたせる」には

6年生の体育「マット運動」の授業。今までの学習を生かし、動きを組み合わせる演技構成を考えるグループでの話し合い学習です。グループ内には、「合わせる動き」「ずらす動き」「止まる動き」の担当があり、演技構成を考える過程で、それぞれの担当から、「前転を同時にしよう」「後転と前転を交差させよう」「みんなで片足立ちしよう」「順番どうする?」などと、次から次へと提案が出てきます。すると、「こんな感じかな」と実際に動いて表現する子どもが出てきました。どの子も「グループのよさが表れた演技にしたい」「自分の役割を果たしたい」という思いを基に自分の知識や考えを伝え、友達と試行錯誤しながら課題解決を図る姿が見られました。



子どもの学びの姿から授業を見直す事後研修

事後研修では、教員が「授業改善メッセージPlus」を基に、授業展開を検証しました。「Aさんが、Bさんの考えも取り入れて、新しい動き方を提案していた」「運動の苦手なCさんの提案が活かされたことで、生き生き活動していた」など、子どもの具体的な学びの姿から、授業の成果と課題をまとめていきます。このように、全教職員でよりよい授業を模索する事後研修が、さらなる授業改善につながっていくものと考えています。

静岡教育事務所は、子ども一人一人のよさや可能性など、子どものもっているものを引き出し、高める授業が各学校に浸透していくよう、学校訪問等を通して支援していきます。

【静岡教育事務所】

世界に飛び立とう! 「ふじのくに海外留学応援フェア」 参加者募集

県内の高校生・大学生に、海外留学や語学研修を通して、コミュニケーション能力の育成や異文化体験を推進するため、「海外留学応援フェア」を開催します。

今年は、国際観光マーケティングに精通した、静岡ツーリズムビューロー・ディレクターの府川尚弘氏の講演や、県が主催する留学事業などに実際に参加した高校生・大学生との座談会を行います。会場内に設けられた相談ブースでは、各国大使館や支援団体の担当者が個別に相談に応じます。



各国大使館などの職員に直接相談することができます

- 日時 平成29年12月17日(日) 午後1時～4時30分
(入場 午後0時30分～ 入退場自由)
 - 会場 グランシップ10階(静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号)
 - 定員 250人程度
 - 内容 (1)講演会 演題「魅力あふれる留学」
静岡ツーリズムビューロー Tourism Shizuoka Japan
ディレクター 府川 尚弘 氏
(2)海外留学経験者(高校生・大学生)の体験談(座談会)
(3)各国大使館(アメリカ・オーストラリアなど多数)・
各種団体ブースでの個別相談
 - 申込締切 平成29年12月4日(月)
(高校生は在籍校を通じて、お申し込みください)
 - 参加費用 無料
- 詳しくは「ふじのくに海外留学応援フェア」で検索
問 高校教育課 ☎054(221)3165

実践NOTE 385

「キャリア教育」と「主権者教育」の実践

椋原高等学校 教諭 向井 稔



授業中の筆者(中央)

え、判断するといった主体的学びを通じ、政治に参加する生徒を育てる」ことだと考えています。

選挙権年齢の引き下げ

平成27年6月、公職選挙法の一部が改正され、平成28年6月以降の選挙から、在校生の一部が選挙権(投票権)を有することになりました。

従来、高等学校の公民科では、主権者教育として、政治そのものについて踏み込んだ授業を行ってきませんでした。今回の法改正により、私たち公民科教員は、今までに経験したことのない新しい教育活動に挑戦することになったのです。

主権者教育の方向性

主権者教育とは、「現実にある課題や争点について、自らの問題として考

出前授業と学習成果報告会(模擬請願)

選管との連携授業の次に行ったのは、西原茂樹牧之原市長(当時)による出前授業です。市長を学校に招き、牧之原市の過去・現在・未来について、首長という立場から、牧之原市及びその周辺地域の課題を提起していただきました。



西原市長(当時)による出前講座

これから政治に関心を持つきっかけになるかも」と率直な感想を残してくれました。



地元企業の事務所を訪問



市の幹部職員の前で学習成果を発表

最後に

イギリスの政治学者ブライスは「地方自治は民主主義の最良の学校、その成功の最良の保証人なり」と述べています。

生徒たちは、この授業で学んだことから、地域社会の抱えている課題について、それぞれの観点で調査・研究し、課題を解決する方策を考える学習に取り組みました。地元企業への訪問や、新聞や書籍(『地方消滅』(増田寛也・著)など)の文献調査など、およそ半年間の探究活動を通じて完成したレポートは、年度末に学習成果報告(模擬請願)として、牧之原市長をはじめ市の幹部職員の前で発表しました。学習を終えた生徒の一人は、「授業で地域にどんな問題があるか考えた。教育の充実に取り組みでまだ実感はないけれど、いきなると考えています。

実践NOTE 386

必要感のある授業づくりを目指して

西伊豆町立西伊豆中学校 教諭 芹澤 秀晃



授業中の筆者

「自分の作品に必要なだったので、家で調べてきました」

これは、授業での生徒の発言です。説明的文章を讀んで、リーフレットに要点をまとめる単元。この生徒が持っていたのは、文章に書かれた内容をもっと読み手に分かるようにまとめたメモでした。決して国語が得意な生徒ではありませんが、1時間メモを見ながら黙々と書き続けました。

新たな授業実践

3年生の授業、説明的文章の『運動会』(玉木正之・著)の単元です。交流で本校に訪問する台湾の中学生に、筆者の主張に対する自分の考えをまとめたリーフレットを渡すことで、伝える相手を意識するようにしました。目的や相手が明確になることで、台湾の人に「運動会の歴史を伝えたい」と、学習にはつきりとした目標が生まれました。

必要感があること

国語では、多くの単元で文章を読むことが基盤となりますが、そのこと自体に大きな抵抗を感じる生徒もいます。だからこそ、生徒が自分から「読んでみたい」「読まなくてはならない」と思える授業を実践したいと考えてきました。授業づくりを進める



個々の必要感に応じて活動する生徒

授業から学んだこと 今回の授業では、課題設定や支援の仕方を工夫することで、生徒たちの間に「困っているから助けてほしい」「友だちと話したい」と思う場面が生まれ、互いの考えや思いを伝え合うようになりました。

それぞれの生徒が、筆者の主張をいかに分かりやすく伝えるかを考え、筆者の主張と自分の考えを比較しながら、現在の運動会について、さらに考えを深めていきました。そこには「読まれている」のではなく、「読みたい」と感じて、文章と向き合う姿がありました。

また、振り返りシートを使い、課題に対する学びを自分で知り、何をすべきか、誰に意見を聞くべきか明確になったことで、「もう一度見直してみよう」「もっと良い考えがありそうだ」と、より良い解を探す姿も見ることができました。

おわりに

一人一人の学びのスタートやスピードは違います。しかし、授業では同じ目標に向かって、あるいは目標を超えて自ら学ぼうとする姿を大切にして、これまでも取り組んできました。これからの対話をするこの良さを実感し、それぞれの深い学びになる授業について生徒の姿を通じて考えていきたいと思えます。



作品の完成に向けて意見を交わす生徒



互いに考えを伝え合う生徒

考えてみませんか?

介護と仕事の両立

今年、団塊世代が、一斉に70代に突入することで、要介護率が跳ね上がり、近々「大介護時代」が到来するといわれています。

この時代を迎えると、職場では育児のための制度を活用する職員の数を、介護のための制度を活用する職員の数が上回る可能性があります。

今後、ワークライフバランスとして、介護と仕事の両立がますますクローズアップされることになるでしょう。

皆さんは、介護に関する休暇の知識はありますか。近年、介護を要件とする休暇等は、急速に整備されています。現在介護に従事している人、または将来予測される人は、介護と仕事の両立についてしっかり考えてみませんか。



【教育総務課】

夢をもち きらきら輝く先生 「ふるさと先生」にインタビューしてきました。

「ふるさと先生」を紹介します!

今回は、平成27年度から「ふるさと先生」として活躍している、磐田市立豊田北部小学校の澤井雅和教諭に、お話を伺ってきました。

磐田市では、市独自で「ふるさと先生」と呼ばれる教員を雇い、35人以下の学級編制や小中一貫教育の推進をしてきました。初めて教壇に立つ方も安心して指導ができるように、校長OBによる個別の訪問指導や研修会、自由に参加できる教師塾など、充実した研修を行っています。

Q 「ふるさと先生」になったきっかけは何ですか?

A 磐田市出身なので、学級担任ができ研修の機会にも恵まれている「ふるさと先生」になって、磐田の子どもたちと活動することを希望しました。

Q 「ふるさと先生」になって良かった点はありますか?

A たくさんあります。まず研修制度が充実しているところですね。磐田市には、「ふるさと礎プラン」という若手教員のための研修制度があり、校長OBの指導主事が私の授業を見に来て指導してください。学級経営などについても相談にのってくださるので、本当に助かっています。また、学んだことをすぐに教室で生かすことができるので、教師として、自分が成長していることを実感できます。

Q 「ふるさと先生」と他の先生との間で仕事上の違いはありますか?

A 特にありません。仕事内容は同じで、子どもたちと充実した毎日を送っています。

Q 今後の目標を教えてください。

A まずは静岡県の教員採用試験に合格すること、そして、どの先生にも負けない楽しい授業や学級づくりをしていきたいと考えています。これからも、志を高く持って子どもと向き合っていきたいです!



澤井教諭は5年生を担当。授業では一人一人の意見に丁寧に耳を傾ける澤井教諭の姿勢が子どもたちにも伝わり、対話の活動が活発に行われていました。



豊田北部小学校には「ふるさと先生」が2人います(澤井教諭(左)と山木尚行教諭)。2人とも、目を輝かせながら今後の目標を語ってくれました。

【教育政策課】

「親子インフラツーリズム」今年も冬休みに開催します!!

Q そもそも「インフラツーリズム」って何?

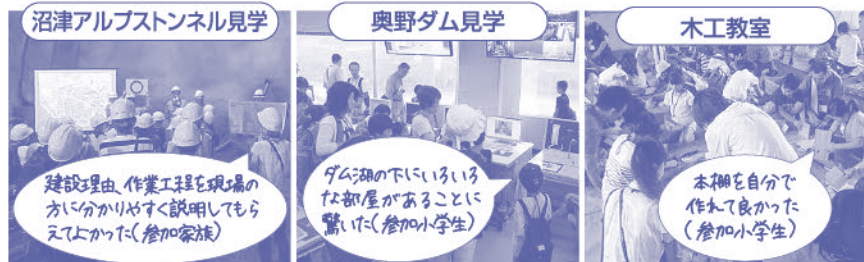
A インフラ施設・工事現場の見学と観光を併せたツアーのこと

親子インフラツーリズムとは?

建設産業は災害復旧等その役割が大きくなっている一方、将来的な担い手不足が心配されており、産学官が連携して担い手確保・育成に取り組んでいます。そこで県では、県内在住の小学生とその家族を対象に、普段見ることができない建設工事の現場やインフラ施設等を見学し、観光と併せて建設産業について見て知ってもらうツアーを、平成27年から毎年夏休み・冬休み期間に実施しています。

夏休みに実施したツアーの様子を紹介します!

今年度は8月2日に17組40人が参加し、国道414号沼津アルプストネルの建設現場や奥野ダムの見学、親子木工教室を行いました。



今年度はもう1回、冬休み期間に開催します。ぜひお申し込みください。

- 日 時 平成29年12月25日(月)9:00~17:00
 - 場 所 太田川ダム(袋井市) 他
 - 内 容 工事現場見学・木工教室
 - 対 象 県内在住の小学生とその家族40人(応募者多数の場合は抽選)
 - 申込期間 11月20日(月)~11月30日(木)
- 申込方法・見学先詳細は11月中旬に「建設業ひろば」ホームページに掲載します。
※見学先は変更になる場合があります。申込時にホームページをご確認ください。

問 建設業課 ☎054(221)3057
HP 建設業ひろば <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-110/>

警察発!!学校とつながる「スクールサポーター」



平成19年度からスタートしたスクールサポーター制度は、学校関係者の皆さまのご理解、ご協力をいただき、11年目を迎えることになりました。スクールサポーター(全員警察官OB)は警察活動で培った経験と知識を生かして、今後も学校と連携し、児童生徒の健全な育成を支援してまいります。

★スクールサポーターの運用状況は…

現在、28人(男性26人、女性2人)のスクールサポーターを県内の警察署生活安全課(下田署及び湖西署を除く)に配置し、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等への訪問をしています。

★学校訪問では…

- ・教職員との情報交換
 - ・児童生徒の問題行動等に関する指導及び相談受理
 - ・非行・薬物乱用防止教室の開催
 - ・学校内の巡回などを行っています。
- また、学校周辺等における不審者情報等の把握を行い、児童生徒の安全確保を図っています。

★こんな時にはスクールサポーターに連絡を…皆さんの力になります!

ある中学校では…

3年生のリーダー格の男子生徒3人とその取り巻きの生徒7、8人のグループが、授業放棄や授業妨害等を繰り返し、他の生徒に著しく支障が出ていました。校長からの要請を受け、スクールサポーターが約2カ月間、授業中、休憩時間、昼休み時間帯等にリーダー格3人を中心に学校内外での指導を繰り返した結果、学校生活態度が改まり、問題行動も減少し、学校内の雰囲気も改善しました。

学校内での不良行為(喫煙、粗暴行為等)やいじめ事案等の対応にお困りの場合のほか、非行防止教室等の開催を希望する場合には、ぜひ、スクールサポーターにご連絡ください。

問 最寄りの警察署(警察署代表電話)
各地区少年サポートセンター ☎0120(783)410

富士山静岡空港から「教育旅行に」出掛けよう vol.17 ~「暑い沖縄」で「熱い想い」に出会う… 教育旅行の新たな魅力発見!~

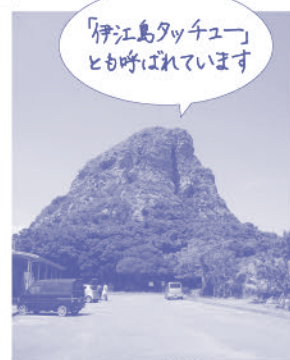
富士山静岡空港を活用した教育旅行推進のため、富士山静岡空港利用促進協議会では、この夏、シンガポール・マレーシアと沖縄に調査団を派遣しました。今回は、沖縄での調査の様子をご紹介します。

★新たな魅力① ~離島・伊江島での民泊~

教育旅行定番の沖縄で、最近人気が高まっているのが「民泊」です。今回は、先進地である伊江島の受入体制を調査しました。

伊江島は、沖縄に数多くある離島の一つです。本島中部、美ら海水族館で有名な本部町の港からフェリーで約30分。沖縄戦の激戦を物語る戦跡もあり、平和学習も可能です。平成15年から民泊を開始し、現在は80軒ほどの民家が1日当たり約300人(1軒当たり3~6人)を受け入れています。生徒は漁業、農業といったそれぞれの家業や、島の「家族」と一緒にご飯を作り、食べる「普通の暮らし」を体験します。

民家の方からは「島全体で子どもたちを応援します」という熱意がこもった言葉をいただきました。島を離れるときには涙を流す生徒も多いということです。生徒が安心して過ごすことができるよう、民家を対象とした衛生・バリアフリー・消防法などの講習会を開催し、他地域との差別化を図っているところもリピーターが多い理由の一つでしょう。



伊江島の城山

★新たな魅力② ~慶佐次湾:カヌー体験・マングローブ観察~

本島北部の東村にある慶佐次湾は、本島最大規模のマングローブが生育しているエリアです。ここでは、カヌー体験をしながら、マングローブやトビハゼ、シオマネキなどの生き物を観察することができます。

熟練ガイドの指導の下、2人乗りのカヌーに乗って、マングローブに近づき、水上からじっくり観察します。ガイドの方は潮の干満や生態系などについて、分かりやすく、丁寧に説明してくれます。生徒にとって、自然環境について学ぶ貴重な機会になるはずですよ。

★新たな魅力③ ~基地のまちKOZA(コザ) 平和学習~

KOZA(旧コザ市(現沖縄市))は、嘉手納米軍基地の門前町として発展しました。現在も横文字の看板やドルでの買い物可能なお店があります。そんな基地のまちをガイドと一緒に歩き、ベトナム戦争時の状況など、基地と共存してきた歴史を学びます。テーマは「今ここにある戦後」(基地と暮らし)。南部戦跡巡りとは違った、現在進行形の平和学習として近年注目されています。

★静岡空港の魅力もさらに高まります!

静岡空港から沖縄・那覇へは全日本空輸(ANA)が毎日1往復運航しています。静岡空港では、現在ターミナルビルの増築・改修工事を行っています(平成30年10月完了予定)。ますます便利になる静岡空港を、ぜひ皆さんも教育旅行でご利用ください。

問 空港利用促進課 ☎054(221)3635

総合教育センター
ふなやろ Angle

学校教育に携わる者として… 行政職員を対象とした新たな研修体系がスタートしています!

県立学校、小中学校、教育委員会事務局に勤務する行政職員が、教育分野の基礎的知識や専門的知識などの理解を深め、「チーム学校」の一員として教職員全体で連携・協働することを目指します。



【教育行政新任職員研修】



はじめて県立学校、小中学校、教育委員会事務局に勤務する行政職員のための研修です!

- ・教育行政、学校教育の理解
- ・教育現場の理解



【教育キャリア開発セミナー】 教育行政の「スペシャリスト」を目指します!



- 職層別研修Ⅰ(主任、事務主任)
 - ・生徒との関わり
 - ・教育課程
 - ・後輩の相談役としての役割の理解



- 職層別研修Ⅱ(主査、事務主査)
 - ・人づくり
 - ・生徒指導とは
 - ・チームの中核としての役割の理解



- 職層別研修Ⅲ(事務長、事務主幹等)
 - ・人権
 - ・コンプライアンス
 - ・監督者としての役割の理解

- 共通研修 一職層Ⅰ・Ⅱ・Ⅲが一堂に集い受講
 - ・教育課題の理解
 - ・グループワーク「仲介・調整力を高める」

- 選択研修 一教職員のためのマネジメント講座から1科目を受講
 - ・教育活動を支えるマネジメントスキルの習得



【専門支援部研修課】

見過ごしていませんか?子どもの人権 ～「人権教育指導者研修会」参加者募集～



学校関係者以外の方も参加できる研修会です。

午前中は「世界一受けたい授業」などのテレビ番組にも出演されている法政大学の渡辺弥生教授による基調講演です。心理学から子どもの人権にアプローチし、ソーシャルスキルや思いやり、感情のリテラシーなどについてお話いただきます。

午後は5つの課題別分科会に別れ、各分野の専門家などによる講演、グループ協議を行います。さまざまな立場の方と協議できるのも、この研修会の魅力の一つです。

子どもたちが笑顔あふれる毎日を送ることができるよう、子どもの人権について一緒に考えてみませんか。

- 日時 平成30年2月1日(木)午前10時から午後4時10分まで
- 会場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号)
- 基調講演(午前) 【演題】「子どもの思いやりとしなやかさを育てるかわり」
【講師】法政大学文学部心理学科 教授 渡辺弥生氏
- 課題別分科会(午後)

分科会	研修課題・演題	講師・実践発表校
1	【子どもをめぐる人権問題】 人権を守るための情報モラル教育の指導方法	静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾氏
2	【障害をめぐる人権問題】 聞こえない子の学習権と言語権について	公益社団法人 静岡県聴覚障害者協会 事務局長 小倉 健太郎氏
3	【同和問題と学校教育】 同和教育が大切にしてきたこと-戦後同和教育の歴史に学ぶ-	公立鳥取環境大学環境学部 教授 外川 正明氏
4	【性的少数者をめぐる人権問題】 「性の多様性」を学ぶことの意義と課題	埼玉大学教育機構基盤教育研究センター 准教授 渡辺 大輔氏
5	【学校における人権教育の推進】 自他を尊重し、互いに認め、高め合う生徒の育成	牧之原市菊川市学校組合立牧之原中学校 (平成28・29年度静岡県人権教育研究指定校)

- 申込期限 平成30年1月10日(水)
- 申込方法 ①～④を記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。
①氏名(フリガナ) ②所属 ③電話番号 ④希望する分科会(第1希望、第2希望)

申・問 教育政策課人権教育推進室 ☎054(221)3133 ☎054(221)3561
Eメール kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

楽しい体験盛りだくさん 焼津青少年の家へ出掛けよう

参加者募集

ここに家族 ～手作りでお正月～

2017年もあと2カ月を切りました。ご家族で手作りのお正月を迎える準備をしませんか。共同作業を通して、ご家族の絆をさらに深めることができます。ものづくりが苦手な人でも所員が丁寧にサポートします。

- 日時 12月16日(土)正午～17日(日)午後2時 1泊2日
- 内容 門松作り、餅つき、ふれあいパーティーなど
- 対象 家族、親子
- 定員 17家族(応募者多数の場合は抽選)
- 参加費 小学生以上 3,500円 3歳～小学生未満 2,600円
3歳未満 1,000円(食費・餅つき・リネン代金等)
- 門松材料費 1,800円(1対2個)
- 申込期限 11月22日(水)午後5時まで お電話にてお申し込みください。



チャレンジスクール2017冬 ～明日に向かって歩こう～

お子さんに家庭や学校ではできない自然や季節を感じる貴重な体験をさせてみませんか。子どもたちは班ごとに活動し、大学生等のボランティアもサポートします。

- 日時 12月25日(月)午前10時～27日(水)午後2時30分 2泊3日
- 内容 早朝ハイキング(焼津市内)、門松作り、餅つきなど
- 対象 小学4年生～中学1年生
- 定員 100人(応募者多数の場合は抽選)
- 参加費 8,500円(食費・餅つき・リネン代金等)
- 申込期限 11月28日(火)必着 郵送にてお申し込みください。
(申込書はホームページからダウンロードできます。)



焼津青少年の家まつり ～フェスタ石津浜～

お祭りコーナー、子どもたちによるステージ発表、作品展示、創作活動、軽スポーツ、軽食販売など。大浴場も開放します。事前申込不要。どなたでも参加いただけます。

- 日時 11月19日(日)午前10時～午後3時

各イベントの詳細は、ホームページをご覧ください。

申・問 焼津青少年の家 ☎054(624)4675 HP <http://yaisei.jp/>

11月は「家庭教育を考える強調月間」です! 月に1度は「家庭の日」を

県教育委員会は、県民が家庭教育の役割やその重要性を見つめ直す月として、11月を「家庭教育を考える強調月間」としています。

期間中は、各市町において、親子体験活動、家庭教育に関する講座や講演会等が開催されます。この機会に、家族で触れ合う時間を持ち、ゆっくりと子育てを振り返ってみてはいかがでしょうか。



家庭の日ポスター

月に1度「家庭の日」を各家庭の都合の良い日に設けることを呼び掛けています。それぞれのご家庭に合った家族の過ごし方を楽しんでください。

【社会教育課】

「第3回静岡県高等学校ビブリオバトル」開催しました!

発表者が推薦する本の紹介を制限時間内に行い、観戦者の投票によって「チャンプ本」(最も読みたくなった本)を決定する「ビブリオバトル」。県内高校生による第3回大会を、9月30日(土)、静岡県立大学で開催しました。

今回は過去最高の20校から37人の高校生が参加。予選を通過し決勝戦に進んだ6人は、身ぶり手ぶりを交えた熱のこもった発表で、150人以上の観戦者を魅了しました。

チャンプ本は、浜松市立高等学校の藤井春人さんが紹介した「ミッキーマウスの憂鬱」(松岡圭祐著)に決定。発表では、「この本で、働くことの意味を考え、日々の生活や仕事へのエネルギーを補給してほしい」と語りました。藤井さんは、来年1月に東京で行われる全国大会に出場します。



チャンプ本を紹介した藤井さん

今回の大会で高校生が紹介した全ての本は、発表者の紹介文を添えて、「読書県しずおか」ブックサイトにアップしています。ぜひご覧ください!

読書県しずおかで検索

【社会教育課】

静岡県幼児教育センター発のスマートフォンアプリ! ふじさんっこぞだメール

子育てQ&A お役立ちリンク お知らせなどがご利用いただけます。「ルールを守って遊べない…」「食事のマナーが悪い…」などの幼児期の悩みや迷いに答える子育てQ&Aには、教育・保育に関する情報が満載!

「わっ!びよん」のぬり絵がダウンロードできるリンクも貼っています。

ダウンロード数 3,000突破!!



問 幼児教育センター ☎054(221)3287

あんしん むすぶ 教職員共済

教職員共済は「教職員」だけがご加入いただける共済生協です!

教職員共済とは

- 厚生労働省の認可を受けた生活協同組合(生協)です。
- 共済事業を行う全国組織の生協です。
- 教職員を組合員とする、教職員と家族を守るための生協です。
- 教職員・教育関係者だけが加入できる生協です。

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 静岡県事業所 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-12 静岡県教育会館 3階 TEL: (054)251-1085

【広告】



「あむりん」は教職員共済のイメージキャラクターです。

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

「教職員」のためのラインナップ!

- 総合共済
- 火災共済 (住宅災害等給付金付火災共済)
- レスキュースリー (交通災害共済)
- 自然災害共済
- トリプルガード (団体生命共済・医療共済)
- 新・終身共済 (終身生命共済)
- 年金共済 (年金共済・遺族年金共済)
- 自動車共済
- 車両共済 (車両保険)

業務中の賠償事故も補償!

2017年9月制度改定!